

平成30年度 第3回郡上市地域公共交通会議（会議要録）

○会議名称 平成30年度第3回郡上市地域公共交通会議

○開催日時 平成31年1月10日（木）午後1時30分～午後4時00分

○開催場所 郡上市役所 4階 第会議室

○報告事項
郡上市地域公共交通網形成計画の事業評価について

○協議事項
議題第1号 平成30年度地域公共交通確保維持改善に関する自己評価について
議題第2号 郡上市自主運行バス「大間見・小間見線」の運行ルートの変更について
議題第3号 小那比・亀尾島地区乗合タクシー事業の本格運行について
議題第4号 郡上八幡インター高速バス停からの2次交通対策事業の実証実験について
議題第5号 郡上八幡万場線の便数及びダイヤ変更について

○出席委員 尾藤安正、平岩憲政、林直樹、大西春子、畑中知昭、出井建雄、馬淵公子、古田米弘、西脇 洋恵、佐野みゆき、餌取賢一、廣中健太、下里武司、宮内菊次、伊豆原浩二、池田喜八郎、古川昭文、佐々木綱行、青木副市長（代理）金森幹雄（代理）、清水秀樹（代理）、森隆行（代理）、一柳秀樹（代理） 計23名

○欠席委員 田中秀昭、三島貴文 2名

○出席者（事務局：市長公室企画課）
室長 日置美晴、企画課長 河合保隆、交通対策担当係長 井上裕章、主任主査 酒井義文

1. 開会（司会進行：企画課長）

2. あいさつ
・青木副市長

3. 報告事項

報告第1号 郡上市地域公共交通網形成計画の事業評価について
（説明者：企画課 酒井主任主査） **資料1**

（事務局より説明）

○幹事会代表として出井委員より全体評価について報告

委員 評価のための幹事会を12月12日に行った。事務局より説明を受け、個々の実施事業について質問しながら評価を行った。評価は難しく、委員で話し合った結果、A・B・C評価では全てBとなった。

評価には5年の計画期間を通しての評価と単年度での評価があり、分かりにくい。また、計画期間を通しての評価では、今年度は1年目のため全体から見て10%の進捗であると全てC評価となる場合があるため、評価方法を検討してほしい。幹事会での意見については、報告書に記入してあるので、ご覧いただきたい。委員の皆さんから意見をいただければ今後に活かせるのではないかと思います。

公共交通の利用については生活そのものに直結するものなので、私の立場として自治会で検討してもらうよう呼びかけを行っていく。2月14日に自治会連合会支部長会があるので課題等を整理して資料を作成してほしい。

*質疑応答

議長 できるだけ多くの人に公共交通を利用いただくためにも、評価の意見を活用していただくことが大事である。自治会の支部長会に提出する資料を準備するとともに、評価手法について事務局で検討いただきたい。

委員 高鷲地域はなぜイベントでのPRができなかったのか。

事務局 準備が遅くなり、開催できなかった。来年は開催する。

委員 大和地域のイベント時には公共交通のブースはあったが無人であった。来年は声掛けしパンフレットを配るなどしていただきたい。

委員 イベントでの啓発を重要視するのであれば、交通会議委員も各地域の会場に来ているので、市役所と連携をとって一緒に啓発してはどうか。

委員 明宝地域のふるさとまつりは市外からの来場者が多く、夏祭りは地域の方が多い。イベントによって来場者が異なるため、地域の委員や振興事務所と連携をとり、どのイベントで公共交通をPRするのが効果的か確認し実施されたい。

委員 地域協議会とも連携してスケジュールを調整されてはどうか。

議長 来年度については、振興事務所やイベント実行委員会とも調整を行い、効果的な啓発ができるよう検討されたい。

委員 タクシーの利用促進の中で周遊プランの検討があるが、観光協会で作製しHPに載せて観光客にPRしているものなのか。

事務局 タクシー事業者が周遊プランを作成しているもので、郡上八幡駅や城下町プラザに周遊コース及び料金を記したチラシを掲示しPRしている。

委員 今の観光客は事前に調べてから利用する方が多いため、HP等に情報を掲載した方がPRになるのではないかと。

やまとふれあいバスの落部場皿線について、以前の会議で道路幅員が狭いから冬期は危険であるので注意した方がよいという意見や、商店等との連携した利用促進について商工会と連携して進めてはどうかという意見を言ったが、会議の意見が反映されていないものがある。出た意見については発言した委員だけでもよいので検討内容を報告していただきたい。事業見直しにも繋がると思う。

事務局 事業ごとに情報の整理を行い対応していきたい。また、やまとふれあいバスについては、現場を確認の上、再度地元と調整したい。

商店との連携については、実現には至らなかったが八幡町内のバローと相談を行ってきた。商工会との連携については現時点で出来ておらずお詫びしなければならない。

委員 バローとの協議はどのようなことなのか。

事務局 八幡町市街地の商店の撤退の際に、Aコープやバローの利用が増える見込みがあることから、バス停を含め利用促進の相談を行ったものである。

委員 事業評価は事業の改善に向かって行うものであり、出来た、出来なかったではなく、次に何を行なっていくかを話していくことが大事。出来なかったことに注目すると、マイナスになる。

会議の議事録を活用して、次に活かせる仕組みづくりを構築してほしい。

4. 協議事項

議題第1号 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価について
(説明者：企画課 酒井主任主査) 資料2

*質疑応答

委員 郡上市は幹事会による事業評価を行なっているので、この点もアピールポイントの一つに入れたらどうか。

事務局 そのように修正する。

議長 ご意見が無ければ、原案のとおり承認してよろしいか。

全委員 異議なし

議題第2号 郡上市自主運行バス「大間見・小間見線」の運行ルートの変更について
(説明者：企画課 井上交通対策担当係長) 資料3

*質疑応答

委員 高低差があるが、途中で降りることができるのか。

事務局 フリー乗降が可能となっている。

委員 高低差があるため、積雪時はスクールバスもチェーンを取り付けているので、注意をしていただきたい。

議長 ご意見が無ければ、原案のとおり承認してよろしいか。

全委員 異議なし

議題第3号 小那比・亀尾島地区乗合タクシー事業の本格運行について
(説明者：企画課 井上交通対策担当係長) 資料4

***質疑応答**

- 委員 小那比の利用者は単純に乗車時間が倍になっているのではないのか。亀尾島で予約がない場合は直接小那比から八幡市街地まで行くのか。
- 事務局 これまでよりも20分程度多く時間を要する。亀尾島で予約がない場合は直接八幡市街地まで行くことができる。
- 委員 地域の方から乗合タクシーの運行について良かったという意見はあるのか。
- 事務局 地元地域からは運行について良かったという意見を聞いている。
- 委員 美並巡回バスの美並八幡線と運行日（木曜日）が重なるが、美並地域には乗降位置はあるのか。
- 事務局 美並地域では羽佐古口が乗降場所となる。国道156号の路線が美並八幡線と重複しているが、小那比から羽佐古口のためのタクシー運行を事業者に依頼するのは厳しいと考えられる。
- 委員 本格運行以降においても、問題点があった場合に委員会で協議していただければ、変更し改善していく。
- 議長 ご意見が無ければ、原案のとおり承認してよろしいか。
- 全委員 異議なし

議題第4号 郡上八幡インター高速バス停からの2次交通対策事業の実証実験について
(説明者：企画課 井上交通対策担当係長) **資料5**

***質疑応答**

- 議長 タクシー事業者からの補足説明はあるか。
- 委員 予約外のお客様でも利用していただけるよう対応している。利用人数については確実に増えている。
- 委員 これだけバスがあることを知らなかった。京都も停車するのか。
- 事務局 京都でも停まる。
- 議長 ご意見が無ければ、原案のとおり承認してよろしいか。
- 全委員 異議なし

議題第5号 郡上八幡万場線の便数及びダイヤ変更について
(説明者：企画課 酒井主任主査・(株)白鳥交通)

***質疑応答**

委員 今回の便数及びダイヤ変更で万場地区の生徒はきっと喜ぶと思う。

委員 郡上八幡白鳥線は何便あるのか？

委員 12便である。

議長 ご意見が無ければ、原案のとおり承認してよろしいか。

全委員 異議なし

議長 本日の審議は以上とする。

○意見交換

委員 白鳥の六日祭りに行くためにシルバー会員になった。写真が必要であるが、手続きに手間がかかりもう少し簡素化できないのか。更新ができるのが1ヶ月前だったので、もう少し周知をお願いしたい。

六日祭り当日の車両には多くの利用者があった。利用者の中には岐阜新聞の企画プランで乗車している人がいたが、北濃駅で降りて昼食をとっていたのであゆパークの利用を勧めるとよかったのではないか。また、帰りは臨時便がなかったので、時間が間に合わずに困った経緯がある。

委員 企画は岐阜新聞のOBが毎年実施している。午前中に臨時を出すことは難しく、ダイヤ編成は難しいと思われる。

シルバー会員の登録手続きについては前回の意見もあり、柔軟に対応している。

委員 11月下旬に「観光列車ながら」を貸切（29人が乗車）で利用した。八幡から北濃間の短い区間であったが楽しむことができた。今後短い区間でも活用できると良いのではないか。仮に今後需要が落ちてきた時は、安いプランも考えてもらえれば良いと思う。

・長良川鉄道の運行実績について報告 (長良川鉄道より報告)

委員 平成29年度の企画列車は何を行ったか。

長鉄 鮎料理の企画列車を行った。

委員 本日は良い協議ができたと思う。今回の議論を継続していくために、利用者の目線が大切である。事あるごとに話題にさせていただくことが、大事であり、地元に帰ってみなさんと一緒になって、お話いただくことをお願いしたい。行政はすぐに課題を作りたがるが、住民の立場からは、まずは使ってみるという選択肢もある。その辺りの溝をうまく埋めることが大事である。

副会長 会議での意見について、委員に対しフィードバックをしてもらえると良い。
以上で第3回郡上市地域公共交通会議を終了する。